

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○		○		○	○	○	

企業の概要

社名	サイボウズ株式会社	都道府県	東京都 他
業種	情報通信業	従業員数	約500名
事業概要	グループウェアの開発、販売、運用		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	あり
テレワーク推進担当部門	事業支援本部 人事部
テレワーク対象者	全組織 全職種
実施者数	全社員
実施日数	月4回以上8回未満

テレワークの導入・拡大の経緯

主に以下の3つの目的で導入しました。

1. 業務効率の向上
2. 雇用機会の創出
3. ワークライフバランスの支援

また、弊社が提供しているクラウド型のグループウェアを活用すれば、時間や場所にとらわれない働き方ができることを立証する意味でも、率先してワークスタイル改革を実施し、そのノウハウを含めて提供しています。

テレワークの概要・特徴

実施対象者は限定せず、全社全職種としています。

弊社では働き方(勤務時間の長さや働く場所)の選択ができます。在宅勤務をどのぐらいの割合ですか、事前に社内ルールに沿った申請をし、承認を得ていれば、所属部署に関係なく実施が可能です。

働き方の選択以外に、突発的な在宅勤務(例:子どもや自身の体調不良によるものなど)については「ウルトラワーク」として当日の連絡でも実施可能にしています。在宅勤務、ウルトラワークをする際は、グループウェア上のスケジュールで明示しておくことで他メンバーへの周知・配慮をしています。場所は自宅やカフェ、帰省中の実家など社外でも可能で、基本的に制限はありません。

業務を行うPCやスマートフォンには社内ネットワークにアクセスできる証明書をインストールしたり、必要に応じてリモートデスクトップの設定などを行い環境を整えています。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

□BCP

数日後に決算発表を控えていた2011年3月、東日本震災が発生、全社員に数日間の在宅勤務命令が出ました。ちょうど在宅勤務テスト導入のためインフラを整備が進んでいたことにより、関係者ほぼ全員がテレワークによって作業を遂行でき、期限通りに提出することができました。

また、台風など危険が伴う場合や人身事故などで交通網が麻痺した場合など出社を控えて、会社以外で仕事をするのが可能です。

□多様な働き方

休職や退職にはならず継続勤務中です。

- ・子供の骨折で2カ月保育園にあずけられなかった女性社員
- ・妻の長期海外出張に同行した男性社員
- ・家族のサポートのため地元へUターンして働く女性社員
- ・半Uターン男性社員

□採用

多様な働き方が実現できることから、応募は年々増加しております。